

習志野市議会 藤崎ちさこ一般質問

2020年3月3日 新社会党習志野総支部

習志野市議会 2020 年第 1 回定例会の一般質問が 3 月 1 日から始まった。藤崎ちさこ議員(会派:新社会の会)は、2 日目の 3 日(火)、3 人目の質問に立った。新型コロナウイルスの感染予防で、傍聴者の入場時はマスク着用とアルコール消毒の手洗いが求められた。藤崎ちさこ議員の持ち時間は最大限の 80 分。藤崎ちさこ議員は、11:35 に壇上に立った。質問に先立ち、「新型コロナウイルス感染の広がりによって多くの人々が心配をしている。1 日も早い予防と感染絶滅を願っています」と言葉にした。

藤崎ちさこ議員の質問通告は、4 項から 8 点の質問をした。(1)放課後児童会について①民間委託の現状と今後について②放課後子供教室との関係について(2)公民館への指定管理者制度導入について①取り組みの現状について②市民の声を反映させるための取り組みについて(3)会計年度任用職員制度について①新年度制度開始に向けた現状はどうか②習志野市の規制と運用について(4)袖ヶ浦地域のごみ問題について①ごみ袋のあり方について②ごみの分別について。



■宮本泰介市長(答弁)

放課後児童会の民間委託は、委託化基準を設けて、適正な運営をしている。委託化は広げていく。満足度も高い。会計年度任用職員について、4 月施行が始まる。対象職員へ説明をしてきた。専門職、事務職も同様になり、安心して働けるようになる。給与面でも改善する。ごみ問題は、モラルが重要だが、市民が手間のかからない手法を取る。

■小熊たかし教育長(答弁)

公民館指定管理者制度は市内で良好であったことから、広げていく。市民の声を聞いて、指定管理者導入に向け進めたい。

〈質問の要旨〉

●藤崎ちさこ議員

放課後児童会の民間委託が進み、保護者の不安が広がっている。

■小沢子供部長

保護者にしっかり情報と説明をしたい。スピード感で進めたい。

●藤崎ちさこ議員

急いでできるものでない。しっかり保護者の声を反映することが大切になる。三つの公民館の指定管理者導入は尚早だと思う。説明不足だと指摘する。会計年度任用職員の規則と運用について聞きたい。

■市川部長

近隣市の比較、国の基準を照らし適正に進めている。

●藤崎ちさこ議員

42%の対象者にこころゆく対応をすべきだ。フルタイムが短時間になり、実際の長時間労働の実態が隠されている。退職手当も支給されない。

■市川部長

退職手当を否定するものでない。

●藤崎ちさこ議員

納得いかない。1 号会計年度任用職員は 6 時間勤務であり、退職手当支給に当てはまらないのはおかしい。

■市川部長

国家公務員手当を基準にしており 2 号のみ支給対象で、1 号は対象外になる。

●藤崎ちさこ議員

習志野市が先行処置として導入することを要望する。

●藤崎ちさこ議員

ごみ問題から、境界地域でのごみ捨て、レジ袋、ごみの分別などについて、質問をし、答弁を受けて終了した。